



天気を読む。



August - September 2023

こんな本



読んでみて

No. 102



目次

天気を読む。	1
MIETAN 本つなぎ 第11回	6
Book design の世界 vol.32	10
ちょこちょこ日記 #42	12

天気を読む。



『すごすぎる 天気の本鑑』

著者／荒木健太郎
出版社／KADOKAWA
出版年／2021年
請求記号／451||A 64



映画『天気の子』の気象監修をつとめた荒木健太郎さんが紹介する空や雲、天気のおもしろいふしぎ。虹の形や雨のにおい、ゲリラ豪雨や線状降水帯など、気になるトピックがわかりやすく解説されています。楽しみながら天気になれることができる一冊です。

『Newtonライト2.0 気象』

出版社／ニュートンプレス
出版年／2020年
請求記号／451||N 68



気象の基礎から気になる気象用語まで、大きな図解で気象のしくみがよくわかります。四季や天気の変化に興味があわいてきます。

『天気と気象について わかっていること いないこと』

編著者／筆保弘徳 ほか
出版社／ベレ出版
出版年／2013年
請求記号／451||F 52



台風や天気予報など気象学の専門的な研究内容や、まだ明らかになっていない事柄についても知ることができます。気象学の研究室をのぞいているかのような一冊です。

『空の辞典』

著 者／小河俊哉
出版社／雷鳥社
出版年／2014年
請求記号／748||O 24



空にまつわる言葉が美しい写真と共に紹介されています。今日の空の名前は何だろうと、思わず空を見上げてみたく なります。

『宮沢賢治と学ぶ 宇宙と地球の科学5 気象と海洋』

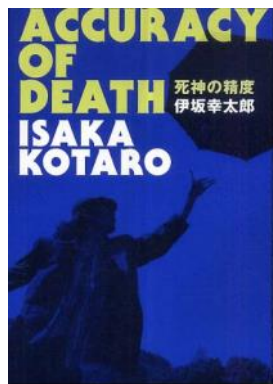
編 者／柴山元彦
著 者／和田充弘
出版社／創元社
出版年／2021年
請求記号／450||Sh 19||5



もともとは地学の教師でもあった宮沢賢治の作品やエピソードを通して、気象や海洋について解説する本書。ていねいな解説でしっかりと理解できる一冊です。

『死神の精度』

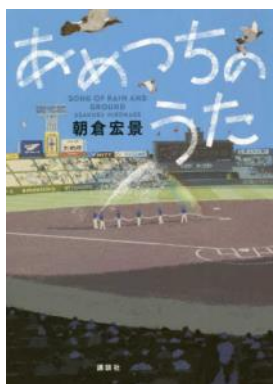
著 者／伊坂幸太郎
出版社／文藝春秋
出版年／2005年
請求記号／913.6||I 68



対象者を7日間調査し生死の判断を下す死神。音楽を愛する死神・千葉は、仕事に来るといつも天気が悪く、快晴を一度も見たことがないという。雨の雰囲気漂うクールな作品。

『あめつちのうた』

著 者／朝倉宏景
出版社／講談社
出版年／2020年
請求記号／913.6||A 85



「雨がなければ、地面は固まらない」甲子園のグラウンド整備を請け負う阪神園芸へと入社した雨宮大地。失敗を重ねながらも、先輩や仲間に関われ成長していく大地の物語。

『雨のアト』

著 者／深町なか
出版社／マガジンハウス
出版年／2018年
請求記号／726.5||F 72



雨が降ったあと、水たまりにうつる青空。そんな日常の中の幸せな瞬間を美しく切り取ったイラストエッセイ集です。本をめくると爽やかな気持ちになります。

『空の絵本』

作 / 長田弘
絵 / 荒井良二
出版社／講談社
出版年／2011年
請求記号／726.6||O 72



「あつ 雨」雨からはじまる一日の空の様子を描いた絵本。詩人・長田弘さんの美しい言葉と、絵本作家・荒井良二さんの鮮やかな絵。奇跡のような美しさを感じます。

三重短生の
おすすめ本をリレーして
三重短を
本でつなげたい！



2020年以來
3年ぶりに
「MIETAN 本つなぎ」
再開します！

第11回

ドリアさん
食物栄養学科
2年

からべるさん
食物栄養学科
2年

ー3年ぶりの「MIETAN本つなぎ」のコーナーです。今日はよろしくお願ひします。早速ですが、ドリアさんのおすすめの本の紹介をお願いします。

ドリア 上橋菜穂子さんの『精霊の守り人』（上橋菜穂子作／二木真希子絵／偕成社）です。シリーズは完結してて、番外編もあります。この『精霊の守り人』が、シリーズ全10巻の中の第1巻です。

からべる どんなストーリー？どんな世界線？

ドリア ファンタジーで、私の印象ではちょっと中華寄りかな。前に綾瀬はるかさん主演でドラマ化もしてました。主人公のバルサは、短槍の達人。女用心棒です。そんな設定からまず面白い！バルサは強くて、めっちゃあこがれる。シリーズにずっと出てくるチャグムっていう新ヨゴ皇国の第二皇子を守る、っていうところからスタートする本です。

ーこの本はいつ読みましたか？

ドリア 小学4年生のときです。厚い本をちょっと読んでみたい時期で。それから何年かかけてシリーズを読んで、話を理解し始めた頃ぐらいから夜更かししてずっと読んでいました。すごい面白い。思い出深いです。番外編もあるから今もちよつとずつ読んでいます。

ー小学4年生のときは、他にも読んでいましたか？

ドリア そうですね。マンガとかの方が多かったですね。『ミッケ』とかしてました。私が一番借りた本が『ミッケ』です。図書館は結構通う派でした。

ー学校の図書館ですか？

ドリア そうですね。休み時間に学校の図書館に行って本読んでました。守り人シリーズは地元の図書館で借りています。文庫本版じゃなくて、この厚いのが何かいいんです。

ー図書館を使ってもらえて嬉しいです。

ドリア この作品は、チャグムの成長物語でもあるから、バルサもチャグムに影響されて心境が変わっていったり、バルサの出生の秘密を知ったり。バルサがどんなふうにも生まれたか、どんなふうにも育ったか。最後は、国の話になって、規模の大きな話にドキドキわくわくしながら読みました。チャグム、最後、イケメンに育つんだよ！

からべる よいなあ。素晴らしいです。知ることができてよかったです。

ドリア バルサが強いから自分も強い気持ちになれるんです。

からべる スカッとするね。読んでみたくなったよ。

ー次に、からべるさんのおすすめ本の紹介をお願いします。

からべる 私が紹介するのは、『にほんごであそぼ 雨二モマケズ』（齋藤孝著／集英社）です。「にほんごであそぼ」っていうテレビ番組を、齋藤孝さんが監修されています。齋藤孝さんがこの本より前に『声に出して読みたい日本語』（齋藤孝著／草思社）を出していて、この本を子ども向けの番組にしたいというところから番組が始まったそうです。

ーそういう経緯があるんですね。

からべる この本の面白いところが、「雪沓の ぎゆうぎゆうとなる 山路かな」（上野嘉太櫛作／230p）という俳句があって、ページの白い部分が雪、「ぎゆう」という文字が足跡を表していて、文字がだんだんと小さくなって表現されているところなんです。私、詩とか好きだったんですけど、その解釈って難しいじゃないですか。これは子どもが見てもわかるし、作者や作品の説明もちゃんと書いてあって、めちゃくちゃわかりやすいじゃんって思いました。もう1個の推しポイントは、「おいしい牛乳」の商品デザインをした佐藤卓さんが、この本をデザインしてるんですよ。だから文字のフォントとかも工夫されています。このページでは、蛙が3匹いるから蛙の文字が工夫されていたり。

ドリア 「蛙びよこびよこ 三びよこびよこ」（早口言葉／251p）ってことか。

からべる そう。飛んでる感じになってる。めっちゃ私が好きなのが1個あって、「はたらけど はたらけど...」っていう石川啄木の短歌（140p）。普通に見えるんですけど、もともと3行に分けて書かれていたものを「ぎつと手を見る」なので指の数に合わせて5行にするっていう。こういう工夫を見て、こうなんだって気付くのも好きなんです。



からべる 本当に1ページ1ページ面白いです。文字数も少ないし簡単そうに見えるけど、めちゃくちゃ工夫されてて、おすすめです。

ドリア 中学生とか高校生のときに知りたかったな。知ってたらもっと国語が好きだったと思う。

からべる 確かに。書道とかもこうやって工夫できたらもっと楽しかったのに。この本、私はもうめちゃくちゃ推しなんです。

ドリア うん、日本語って面白いなって思った。

からべる 面白いですね、本って。

ー3冊とも三重短の図書館にある本なので、ぜひ読んでもらいたいですね。

MIETAN
本つなぎ 3つの質問



ー続いて、3つの質問です。①今はまっているものを教えてください。

ドリア 今ハマってるものはドリアです。松阪にあるキッチン星っていうお店のドリアが、チーズたっぷりですごく美味しくて、いつも食べに行ってます。数量限定メニューのローストビーフドリアが、ちょっと高いけど一番おいしいです。

からべる 行きたい！いいね。好きなものがあるのは大事。私のはまっているのは、フェアトレードです。

ーフェアトレード商品を自分で買ったり紹介したりしているんですか？

からべる それもなんですけど、フェアトレードタウンやフェアトレード大学というフェアトレード活動しているコミュニティがあって、自分で話を聞きに行ったりしています。それで、頑張ってる部活を作りました。

ドリア 作ったの？すごいね！

ーそこから活動が広がっていくといいですね。

からべる はい。ありがとうございます。それから、もう1つがカービィです。最近、妹と一緒にカービィカフェに行きました。

ー今日はカービィのぬいぐるみも持ってきてくれたんですね。かわいいですね。

ー前回の五月さんからの質問です。②好きな季節はいつですか？

ドリア 私は秋が好きです。暑くもなく、寒くもなく、長袖1枚でいられる季節が好きです。

からべる 私も服が理由で、冬が好きです。夏も冬も、この長い感じの服を着てます。あと茶色が好きなので。冬って、茶色系多いですよね。

ー最後、③おすすめの映画は何ですか？前回のふじさんからの質問です。

ドリア ドラえもんです。幼なじみがドラえもん好きで、映画に連れて行かれて、それでめっちゃ涙を流すっていう。特に「STAND BY ME ドラえもん」はもう本当に何回見ても面白いです。曲もすごく良かったので、今でも聞いてます。

からべる 私は洋画が結構好きで、その中でも、おすすめなのが「ビッグ」です。12歳の男の子が願いを叶えるという占いボックスに願って大人の姿になるんです。見た目は大人だけど中身は子供のまま行動して、おもちゃ会社に入って活躍するんですよ。最後までめっちゃいいです。中学生ぐらいの時に見て、こういう風に生きられたらなと思って、この映画に影響を受けました。

ー今日は素敵なお話をたくさんありがとうございました。

ドリア・からべる ありがとうございました。



●ドリアさん●

『精霊の守り人』

(上橋菜穂子作/二木真希子絵/偕成社/913.6||U 36)

●からべるさん●

『にほんごであそぼ 雨ニモマケズ』

(齋藤孝著/集英社/816.8||Sa 25)

『声に出して読みたい日本語』

(齋藤孝著/草思社/809.4||Sa 25)

MIETAN
本つなぎ

11



次の2人へ
本つなぎ。
次回もお楽しみに♪

Book design

の世界

vol.32

坂川 朱音 さん

(朱猫堂)

本を選ぶ時、表紙や本のデザインに惹かれて選ぶことがあります。本を開くとそこに書いてある「装丁」という言葉と名前。

本のデザインをする方を装丁家やブックデザイナーと言います。この連載では本のデザインや装丁から、本を楽しみたいと思います。

第32回目は、坂川朱音さんです。

今回は、坂川朱音さんの装丁をご紹介します。坂川朱音さんは、装丁家の父・坂川栄治さんの坂川事務所へ2006年に入社、2016年独立後、2018年にデザイン事務所・朱猫堂を設立されました。本の装丁を中心に活動されています。



装画：福田利之
装幀：坂川朱音+鳴田小夜子
(坂川事務所)

はじめにご紹介する『クララとお日さま』(カズオ・イシグロ著/土屋政雄訳/早川書房/2021年/933|| 73) は、ノーベル文学賞作家 カズオ・イシグロさんによる、AIロボットのクララと病弱な少女のジョージとの友情を描いた作品です。ひまわりと少女が描かれた装画は福田利之さんによるものです。美しさや懐かしさなど様々な魅力が感じられる装丁です。

『最後は会ってさよならをしよう』

(神田滯著/KADOKAWA/2021年/913.6||Ka 51) は、Twitterで発表され話題となった人気作や書き下ろし作品など、140字で紡がれた超短編小説を集めた一冊です。表紙に描かれた涙や星には金の箔押しが施されていて、140字に込められたはっとする驚きや感動のきらめきを思わせます。140字の余韻が美しく響くような装丁です。



Illustrations : Natsuki Suyama
Book Design : Akane Sakagawa



イラスト：高橋由季
デザイン：坂川朱音

『女子のための一生困らない「手に職」図鑑』

(華井由利奈著/光文社/2018年/366.29||H 27) は、先輩女性のリアルな声を元に働きやすさなどの視点から紹介する職業図鑑です。働く人々のイラストが描かれ、さまざまな職業を前向きにイメージできるデザインになっています。まるで味方のように感じられる装丁です。

『リュウジ式至高のレシピ 人生でいちばん

『美味しい！基本の100料理』

(リュウジ著/ライツ社/2021年/596||R 98) は、TwitterやYouTubeで人気の料理研究家・リュウジさんの美味しいアイデアがつまったレシピ集です。ピカーっと輝く一面の黄金色がぱっと目に飛び込んできます。美味しい料理を作る自信がわいてくるような装丁です。



装丁：坂川朱音(朱猫堂)
イラスト：風間勇人

最後に『100日間おなじ商品を買いつけることでコンビニ店員からあだ名をつけられるか。』

(与謝野著/光文社/2020年/916||Y 85) をご紹介します。noteで公開され話題となったコンビニでの実験の日々をまとめた一冊です。一目見たただけでおもしろさが伝わってきて、思わず手に取りたくなるデザインです。100日間と後日談を見届けた後、しみじみと見返したくなるような装丁です。




イラスト：小山健
ブックデザイン：坂川朱音

今回ご紹介した坂川朱音さんの装丁は、本を手にとると安心できるような、本に寄り添ったデザインが魅力的でした。

参考：「カズオ・イシグロ最新長編『クララとお日さま』装丁家・坂川朱音さんインタビュー」
ダ・ヴィンチweb, 2021/6/16, 参照 2023/7/25, <https://ddnavi.com/interview/771640/a/>

Book design の世界 次回もお楽しみに！



ちょこちょこ日記 #42 「3つの映画」

3年ぶりに「MIETAN本つなぎ」のコーナーを再開しました。三重短の学生さんのおすすめの本の話を久しぶりに直接聞いてうれしかったです。3つの質問の中で「おすすめの映画は何ですか？」という質問がありました。そこで今回は図書館所蔵の映画DVDから3作品をご紹介します。

●『キツツキと雨』(沖田修一監督・脚本／役所広司, 小栗旬出演／2011年公開) 小さな山村に突然やってきたゾンビ映画の撮影隊。撮影はトラブル続き。無事、映画は完成するのだろうか。

●『アメリ』(ジャン=ピエール・ジュネ監督／オドレイ・トトゥ主演／2001年公開) モンマルトルのカフェで働く空想好きのアメリ。アメリの優しさと勇気に元気がもらえる作品。

●『Coda あいのうた』(シアン・ヘダー監督・脚本／エミリア・ジョーンズ主演／2022年公開) 高校生のルビーは四人家族の中で一人だけ耳が聞こえる。家族から頼りにされているルビーは、ある夢を見つける。第94回アカデミー賞作品賞受賞作。

紹介した作品は、館内の視聴ブースでご利用いただけます。

これからも「MIETAN本つなぎ」にぜひご注目ください。

次号 No.103 は、2023年10月発行予定です。

こんな本読んでみて No.102

2023年8月1日 発行

編集・発行 三重短期大学附属図書館

〒514-0112 三重県津市一身田中野157

<http://www.library.tsu-cc.ac.jp/>